

我が街の消防力

瀬戸市民の生命、身体、財産を守るために！



目 次

I	一目統計	1
II	本市消防の強み	2~4
III	災害現場（119番通報~現場活動）	5
IV	実戦に備えた訓練	6
V	消防の予防活動	7
VI	広報・啓発活動	8
VII	消防団の活動	9~10
VIII	地域防災力の向上	11
IX	消防関係団体	12~16

I 一 目 統 計




令和2年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(令和元年中)
				
	111.40 km ²	129,410 人	56,666 世帯	年平均気温 16.4℃ 年平均湿度 68.2 % 年間降水量 1,517 mm

消防予算 構成人員	消防予算	署所数	職員数	団員数
				
	14億2,784万7千円 市民1人当たり 11,034円	消防本部 1 消防署 1 分署 2	144人 (内女性5人)	256人 (内女性20人)

消防車 水利	ポンプ車等	はしご車等	救急車	水利
				
	タンク車 3台 ポンプ車 4台	はしご車 1台 その他の車両 14台	高規格救急車 5台	消火栓 2,944基 防火水槽等 565基 (その他の水利を含む)

災害件数 (令和元年中)	火災	主な火災原因	救急	救助
				
	38件 出火率 2.9件/万人	放火・放火の疑い 7件 たばこ 5件 取灰 3件	出動件数 5,655件 (15.5件/日) 搬送人員 5,335人 現場到着時間 6.7分	出動件数 82件 救助人員 35人

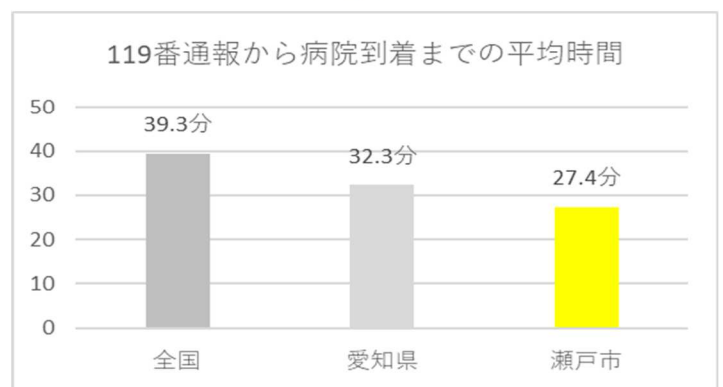
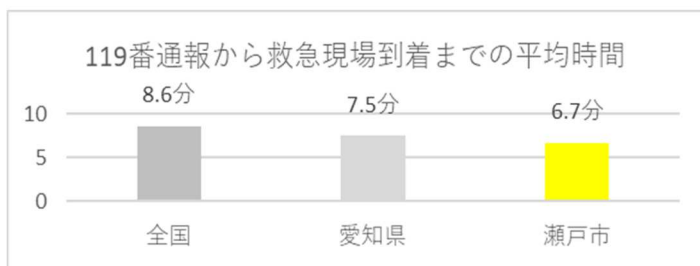
予 防 消防関係団体	防火対象物	査察実施率	危険物施設	消防関係団体
				危険物安全協会 309会員 自衛消防連絡協議会 18隊 婦人(女性)防火クラブ 10クラブ 少年消防クラブ 25クラブ 瀬戸防火防災協会連合会 20連区 自警団 5団 防災会 2会
	4,525件	21.1%	製造所 3件 貯蔵所 214件 取扱所 101件	

II 本市消防の強み

1 救急・医療体制の充実

24時間365日対応できる救急医療体制を備えた公立陶生病院や隣接市に2・3次医療機関が点在する恵まれた医療環境と本市が採用する直近出場システム等により、119番通報から病院到着までの時間が全国や県内平均より早い時間で到着します。

【市内及び近隣救急医療機関配置図】



2 消防相互応援体制の充実

県内及び隣接市と消防相互応援協定を締結しており、定期的な訓練等で連携を強化し大規模・特異災害に備えています。

特に、隣接する尾張旭市とは「消防行政の連携・協力に関する協定」を締結し、両市が保有する人・財政的資源を有効活用し、消防・救急予防業務など様々な分野で相互応援体制の充実を図っています。



3 地域防災力の向上

地域防災力の向上に向け、「地域防災の要」となる消防団、地域の防火防災委員、自主防災リーダーや自警団を中心に、自衛消防隊、幼年消防クラブ、少年消防クラブ、婦人消防隊や防災会、災害時協力事業所やボランティアなどが連携・協力し、自主防災組織としての活動を担っています。

また、市消防本部では、各連区に消防司令級職員1名ずつを担当として配置する「消防地域防災担当制」を導入し、地域での防災訓練などの支援を行っています。



4 消防の広域化

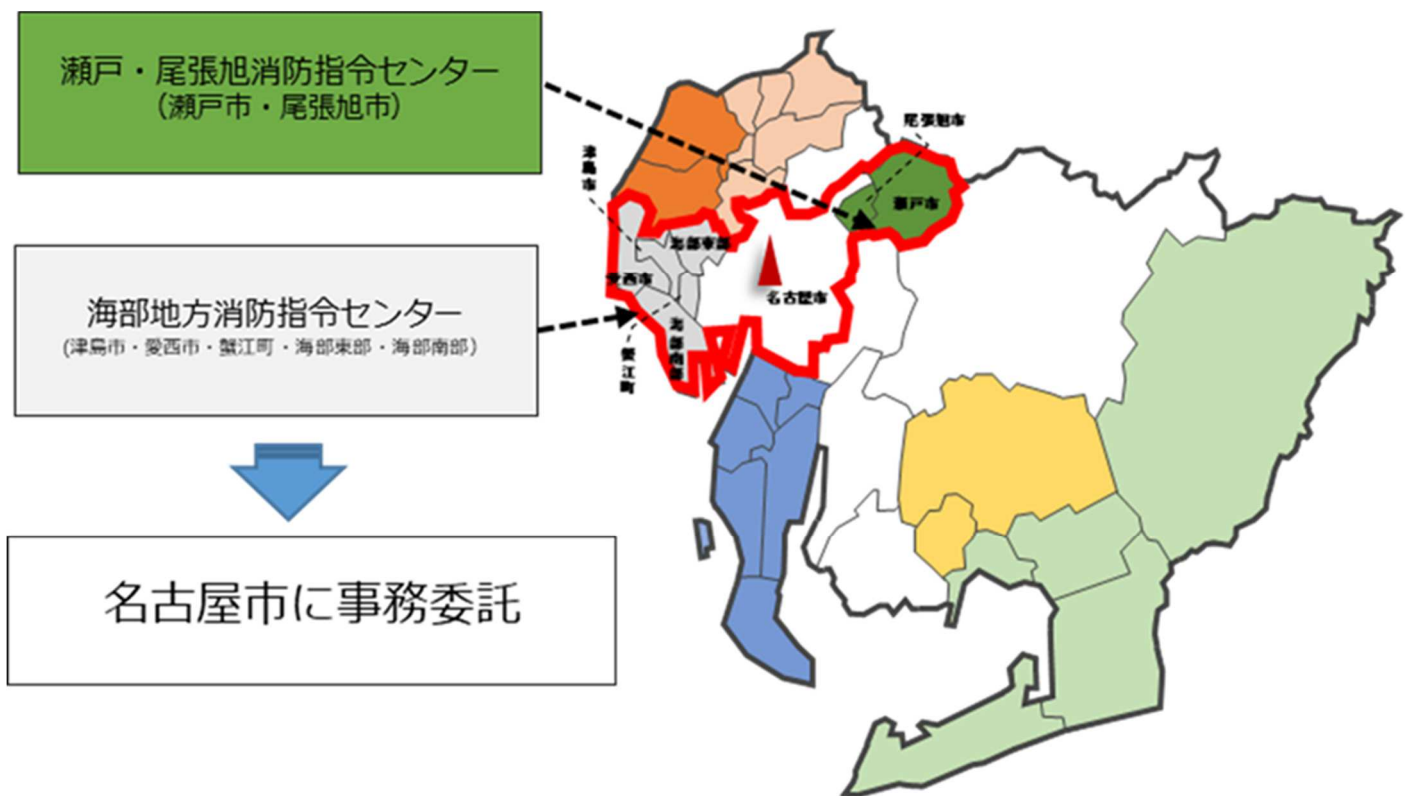
消防広域化に向け、名古屋市を含む8消防本部と令和7年4月から消防指令業務を共同運用することとしました。

これにより人的・財政的効果や災害対応能力の向上が見込まれ、消防力、市民サービスの向上が期待されます。



指令センターイメージ

【消防指令センター広域図】



Ⅲ 119 番通報～現場活動

119 番通報

119 番通報を受信すると、災害種別・災害地点・災害の詳細などを聞いて、消防隊等を出動させます。



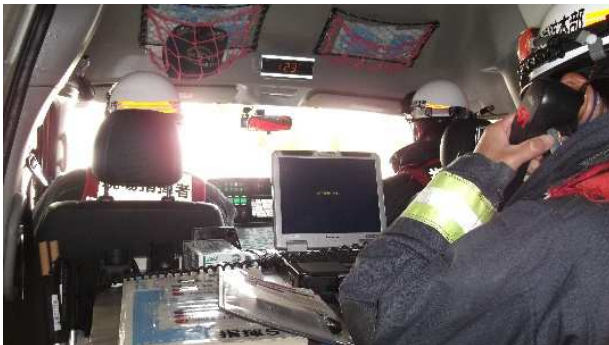
現場確認

出動指令が下命されると、出動隊は指令画面や指令書で災害現場を確認します。



出動準備

出動隊は活動用の服（防火衣等）を着装し、車両に乗り込みます。



出動途中

出動各隊に対し、具体的な部署位置や活動内容を下命します。

現場到着

災害状況を確認しながら、最善の活動ができるよう連携しながら活動します。



火災現場



救助現場



救急現場

IV 実戦に備えた訓練

日本全国で発生する災害に備えて、効率的に連携活動ができるよう、大規模な合同訓練を行う他、市内で発生するあらゆる災害に備えて、厳しい訓練を行っています。

1 合同訓練

- ・ 緊急消防援助隊
- ・ 防災航空隊
- ・ 尾張東部五市
- ・ 尾張東部地区MC協議会
- ・ 多治見市合同救助訓練
- ・ 愛知県警防技術交換会
- ・ 多治見・土岐合同林野火災訓練
- ・ 東部丘陵地域合同消防訓練

など

2 単独訓練

- ・ 秋の火災予防運動に伴う訓練
- ・ 春の火災予防運動に伴う訓練
- ・ 文化財防火デーに伴う訓練
- ・ 危険物安全週間に伴う訓練
- ・ 土砂災害対応訓練
- ・ 重量物排除訓練
- ・ 山間部救助訓練
- ・ 無人航空機（ドローン）操縦訓練

など



緊急消防援助隊合同訓練



防災航空隊合同訓練



重量物排除訓練



ドローン操縦訓練



山間部救助訓練

V 予防活動

火災を未然に防止するため、建築物の建設に係る事前相談や建築同意等の審査、危険物施設の許認可をはじめ対象物の実態に応じた立入検査の実施や、住宅防火の推進及び広報活動等を行っています。

1 各種届出等受付及び審査事務

消防法、火災予防条例等に基づく届出等の受付、建築同意審査、許認可等を行います。



2 立入検査

(1) 防火対象物

消防法等に基づき、消防吏員が対象物の消防用設備等や建築物等の維持管理状況を確認するものです。



(2) 危険物施設

許可を受けた指定数量以上の危険物の貯蔵・取扱いがある施設を確認するものです。



3 住宅用火災警報器の設置促進事業

各家庭における住宅用火災警報器の適正設置率を向上させるため、戸別訪問調査や設置促進の広報活動を行っています。



VI 広報啓発活動

市民の皆さんとふれあうことで、火災や救急に関して理解を深めてもらい、地域ぐるみで安心・安全なまちづくりを進め、住みやすい街につながるよう活動をしています。

1 広報活動

- ・尾張東部放送（RADIO SAN-Q）に毎月1回出演し、広報活動を行っています。
- ・消防車両で火災防止の広報活動を行っています。
- ・ホームページ、せとまちナビ、安心安全メールなどでリアルタイムな情報発信をしています。



2 庁舎見学

市内の幼稚園、保育園や小学生が消防署へ見学を訪れ、消防署の仕事や消防車の機能などを学び、放水体験やはしご車の試乗など、様々な体験を通じて将来の防災の担い手の育成に努めています。



3 救命講習会

応急手当の普及啓発活動について、住民に対する応急手当に関する正しい知識と技術の普及を目的として、救命講習会を開催しています。



4 住宅防火普及員講習会

安心して暮らせるまちづくりを目指し、住宅火災による高齢者や障害者などの死傷者の減少を図るため、火災予防活動の地域支援活動を行う普及員を養成しています。

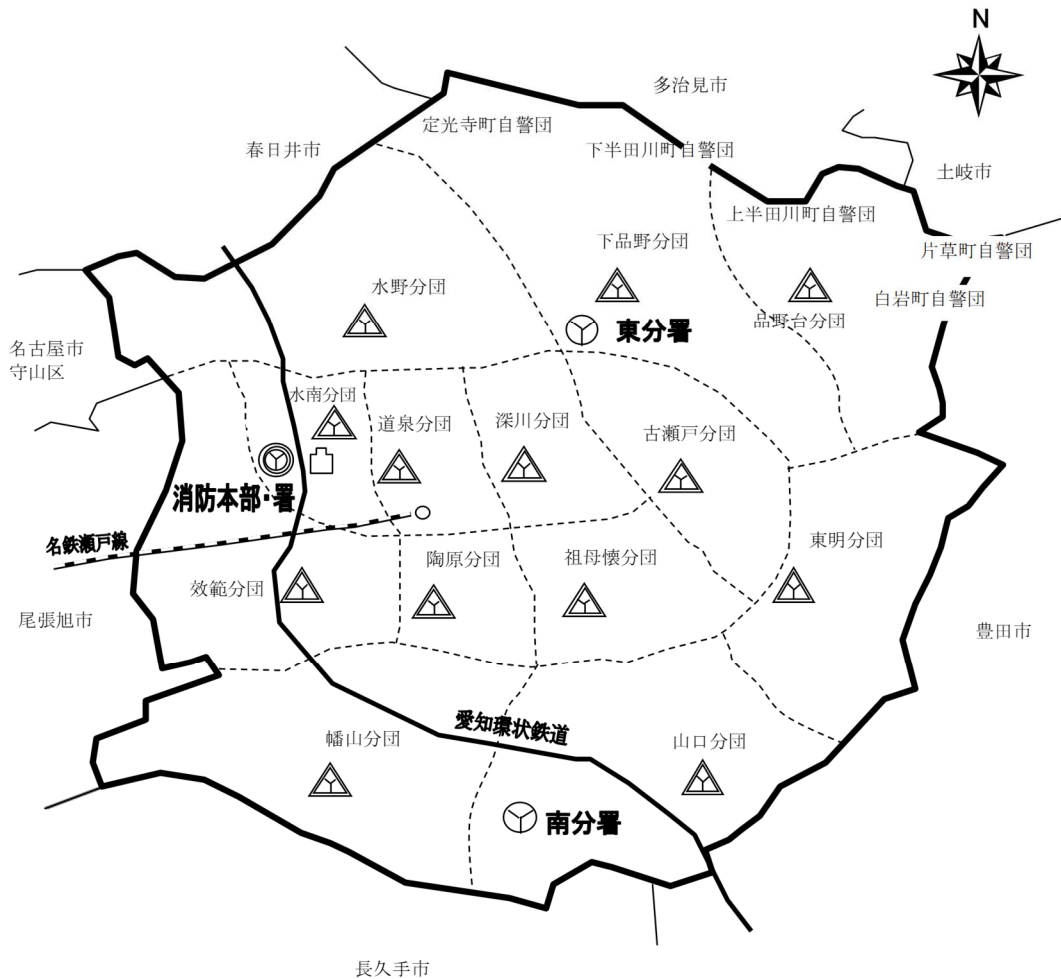


VII 消防団の活動

消防団は、地域防災力向上の要として、なくてはならない存在に位置付けられており、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。

また、近年は女性が消防団へ参加し、特に、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。

【消防団・自警団詰所配置図】



1 災害活動

- ・火災現場での消火・警戒活動
- ・風水害時の水防活動
- ・大規模災害時の各種活動
(救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防御など)



火災現場活動

2 訓練

- ・ 毎月の定例訓練
- ・ 地域防災訓練
- ・ 礼式訓練
- ・ 機関取扱訓練
- ・ 放水訓練
- ・ 資器材取扱訓練
- ・ 防災リーダー指導者研修会
- ・ 春の火災予防運動に伴う林野火災訓練
- ・ 危険物安全週間に伴う訓練
- ・ 文化財防火デー消防訓練
- ・ 三市消防団合同訓練（瀬戸・尾張旭・長久手）



機関取扱訓練

3 予防・啓発事業

- ・ 火災予防運動等での広報活動
- ・ 救命講習会の指導者
- ・ 住宅防火普及員講習会の指導者
- ・ あいち防災フェスタ参加
- ・ 各種行事のナレーション
- ・ 赤バイ隊による PR 活動
- ・ 消防団ラッパ隊による演奏
- ・ 幼稚園児に対する防火指導
- ・ あいち消防団の日 PR 活動



救命講習会

4 消防団と市民との連携

- ・ 自主防災リーダー研修会
- ・ 地域防災訓練
- ・ 消防団応援サポーターPR 活動
- ・ バイクの日のパレード
- ・ 地域祭事での警戒活動



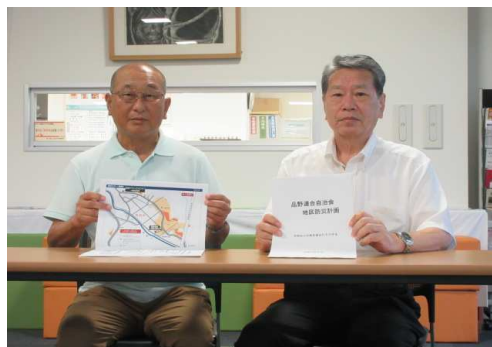
地域防災訓練

VIII 地域防災力の向上

地域や住民の命や財産を守る上で重要な地域防災力の向上をめざし、自主防災組織などと連携し、地域での防災活動を支える各種施策に取り組んでいます。

1 地区防災計画策定支援

地域での防災活動を継続するルールづくりとなる地区防災計画を推進するため、平成30年度から、自治会の同意のもと地区（連区）を指定し、防災マップづくりを足掛かりとする地区防災計画策定の支援を行っています。



2 防災講演会

瀬戸防火防災協会との共催により、地域での防災活動推進の一助となるテーマで年1回開催し、消防団員、防火防災委員、自主防災リーダーなど地域の防災関係者などが参加しています。



3 災害時協力事業所登録制度

事業所の専門的な技術や資機材などを地域住民や消防機関に提供いただくことで、地域の災害対応能力の向上につなげる制度です。

令和2年末現在、市内50事業所が登録し、市HPなどを通じ周知広報を行っています。

瀬戸市災害時協力事業所表示証



4 防火防災教育

少年消防クラブ員が消防学校へ体験入校し、放水体験や救急体験等を行い、消防についての関心を深め、地域防災力を向上させるため、将来の防災の担い手の育成を図っています。



IX 消防関係団体

瀬戸市の安全・安心を守るため、市消防本部や地域と連携・協力する自主防災組織として、それぞれの特性を活かし活動しています。市消防本部では、補助金交付や資機材提供、研修実施などを通じ団体活動の支援を行っています。

1 瀬戸防火防災協会連合会

消防設備の整備促進及び防火防災意識の普及啓発並びに自主防災活動の推進を図り、地域防災力の向上に寄与することを目的に、市内全域の20連区の自治会長で組織する連合組織として、市と連携し各種防火防災事業を行っています。

- ・街頭消火器設置整備事業
- ・防火防災委員・自主防災リーダーの委嘱
- ・地域防災訓練の実施
- ・防火防災功労者表彰
- ・視察研修の実施
- ・児童防火作品コンクール後援
- ・防火防災パトロールの実施
- ・消火技術競練会への参加協力
- ・消防出初式への参加協力



市主催 自主防災リーダー研修会受講風景



街頭消火器設置整備事業



地区防災訓練 防災備蓄品確認

2 瀬戸市危険物安全協会

瀬戸市危険物安全協会は、危険物、液化石油ガスに起因する災害の発生を防止し、社会公共の福祉の増進に寄与する目的で昭和32年4月に設立され、危険物等の貯蔵、取扱いに必要な知識、技術の習得、施設の適正管理及び一般火災予防に関する知識の普及等活発な活動を行っています。

- ・危険物安全週間
- ・秋の火災予防運動
- ・春の火災予防運動
- ・消防団観閲式こども祭りにおける「火育」コーナー
- ・消火技術競練会こども祭り
- ・児童防火作品コンクールへの後援
- ・危険物取扱者免状助成事業
- ・定例表彰の実施



危険物安全週間ポスター



消火技術競練会



消防団観閲式火育コーナー

3 瀬戸市自衛消防連絡協議会

昭和52年に市内事業所の自衛消防組織をもって協議会が発足され、事業所における火災など各種災害の防ぎよ活動や会員相互の連絡協調事業を行っています。

- ・秋・春の火災予防運動の啓発
- ・視察研修の実施
- ・会員親睦事業の実施
- ・消防出初式への参加協力
- ・消火技術競練会への参加協力



視察研修



消防出初式



消火技術競練会

4 自警団

市中心部から遠隔地にある5地域（上半田川町・下半田川町・定光寺町・片草町・白岩町）において、地域の防災機能を維持する自主組織として、可搬消防ポンプを装備し、各地域における火災等、各種災害の防ぎよ活動や予防広報活動を行っています。市消防本部では、5団合同による事務連絡会や研修を開催しています。

- ・地域内災害への出動
- ・地域防災訓練への参加協力
- ・年末夜警の実施
- ・事務連絡会（市主催）
- ・合同研修会（市主催）



年末夜警激励



合同研修会

5 瀬戸市婦人消防隊連絡協議会

各地域婦人（女性）防火クラブ相互の連絡協調を図り、家庭における防火思想の普及啓発活動を行っています。

- ・消防団観閲式
- ・消火技術競練会
- ・消防学校指導者科入校
- ・県内幹部交流会
- ・秋の火災予防運動
- ・せと市民総ぐるみ防災訓練
- ・防犯・防火合同キャンペーン
- ・年末火災警戒活動
- ・新年祝賀式・名刺交換会
- ・火災予防研修会
- ・春の火災予防運動



消防学校指導者科入校

6 瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会

少年消防クラブは、学校教育の課外活動や地域活動の中で防火思想の普及啓発活動を行っています。

- ・愛知県消防学校 1 日入校
- ・児童防火作品コンクール
- ・消火技術競練会
- ・消防出初式



児童防火作品コンクール表彰式

7 瀬戸市幼年消防クラブ

幼年期において正しい火の取扱いについて学び、火の怖さを学ぶことで、火遊び等による火災を減少させ、将来の地域防災の担い手を育成しています。



防火教室

8 防災会

末広町と朝日町の2つのアーケード商店街を中心に組織され、密接する建屋などを火災から守るため、消火訓練や各種の防火意識の普及活動を行っています。



アーケード消防訓練



瀬戸市消防本部シンボルマーク「ファイ太くん」

我が街の消防力

編集 瀬戸市消防本部 消防課
発行 令和3年1月

〒489-0983 愛知県瀬戸市苗場町 101
TEL 0561(85)0479(予防広報担当)
FAX 0561(21)6605

URL ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2021012500010/>

E-mail ▶ yobou@city.seto.lg.jp